

高松学習館運営協議会（令和5年10月）会議録概要

開催日時 令和5年10月25日（水曜日）午前9時30分～午前11時

開催場所 高松学習館 第1教室

出席者 [委員] 神山敬章（明星大学名誉教授）

吉田理恵（立川市社会福祉協議会）

山口聰子（青少年健全育成曙町地区委員会）

梅田茂之（自治会連合会栄町支部）

橋本登（たちかわ市民交流大学市民推進委員会）

難波敦子（学習館利用団体）

栗原政子（学習館利用団体）

結城まり子（学習館利用団体）

欠席 2名

[事務局] 植澤尚武（高松学習館係長）、富田瑞代（会計年度職員）

定数の過半数の出席により会議成立とする。

議事

1. 会長あいさつ

おはようございます。イベントが目白押しになって皆さん多忙の中にご活躍のことと思う。クリスマスたかまつりがいよいよ近づいてきている。本日はPRちらしについて検討することになっている。

2. 報告事項

- ・事務局より下記について報告があった。

- ・高松町健康フェア（10/1 実施）について

高松児童館と共に一つのブースで参加した。

学習館から栗原委員の千代紙人形しおりづくり、児童館からけん玉と駒回しの体験を実施。栗原委員がキットを事前に準備してくれた。当日は子どもから年配の方まで参加されて賑わっていた。

- ・防災講座（10/7・10/21 実施）について

参加者アンケート結果は好評だった。2回講座で防災視点のまち歩きと在宅避難のための日頃の備えについてイメージしていただけた企画と思う。梅田会長に安全管理スタッフとして動いてもらった。

参加者に災害について印象が残り考えてもらえるような伝え方を今後工夫して伝承していただきたいという意見があった。

- ・その他

高松学習館や運営協議会の組織活動について関心度が低い。利用者以外はあまり興味を示さないように感じる。市民交流大学、市民リーダー、生涯学習活動が地域に積極的に浸透していく工夫が必要だという意見があった。

活動の見える化や地域に入り込んで一緒にPRも兼ねて活動し輪を広げていくことが大事。社会教育委員の活動も学校関係（放課後子ども教室やPTA）と一緒に取り組むように工夫している。いろいろなサークルから情報をも

らって地道な活動を続けながらどうしていくか考えていくことが次のアプローチにつながる。高松学習館も学芸大生と上手くコラボして良い立ち位置にいるので若者の声を反映させる学習館になっていけばいいと思う。

3. 協議事項

(1) 前回議事録（案）について 承認された。

(2) 高松学習館の取り組みについて

- ・地域活性化事業（案）について

11/11 たかまつり音楽会の当日お手伝い可能な方の確認をした。

梅田会長（あいさつ）、難波副会長、栗原委員（午前）、吉田委員（午後）

- ・東京学芸大学との連携事業について

- ・広報原稿の校正について事務局より報告があった。

- ・10/19 学芸大で市民リーダーさんの指導で学生さん達がけしごむはんこと

松ぼっくりツリーの体験実習を行った。予定していた時間内で作成できた。

- ・学生さん作成のPRちらし（案）の内容について協議された。

カラー印刷は掲示用、2色印刷は配布ちらし用になる予定。

委員より文字や文章のフォント数やルビ、色、デザインなど修正箇所について意見があった。映画会は画像を入れてもいい。情報を整理して簡潔にできる部分は修正する。ちらしは誰のために周知するのか、子どもか保護者なのか、方向性を確認して作成する。小学校に配布するかどうか協議した。定員は少なくとも、地域の人達に広く周知していくのであれば今後は小学校に配布（児童の一人一人に配布）や小学校で掲示することも検討した方がいいという意見があった。今回は昨年の実績を踏まえ、学校配布は見送ることに決定した。

学生さんの方でちらしを手直しして申込受付開始日（11/10）より前に市内の各施設に配架する予定。

(3) その他

- ・ 次回の開催日について確認した。

- ・ 生涯学習スタッフ関係者研修：令和6年2月2日（金）午後に変更

4. 地域課題共有

- ・ 社会福祉協議会より：高松商店街の立川伊勢屋さんと錦町の星槎国際高校のコラボ企画でお団子セットに貼るシールのデザインを高校生に考えてもらっている。2月頃にお店に並ぶ予定。
- ・ 曙町：健康フェア実施。11/3 午前10時～午後12時30分、会場は第二小学校の体育館
- ・ 栄町：さかえ会館で市民リーダーフェアを12/2に実施する。

以上